

# 議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書

開催日時	平成28年11月13日（日） 13:30～15:30
開催場所	戸山市民センター
会場責任者	中田 靖人、藤原 浩平
記録者	奈良 祥孝
出席議員	中田 靖人、藤原 浩平、奈良岡 隆、里村 誠悦、赤木 長義、奈良 祥孝、橋本 尚美、小豆畑 緑、村川みどり、藤田 誠
参加者数	13名（全参加者数23名）
報告内容	アウガについて
意見交換内容等	<p>意見交換会（ワールドカフェ）テーマ「まちづくりについて」</p> <p>1. 青森市のまちづくりについて「誇りに思うこと」「残念に思うこと」とは何ですか？</p> <p>（1）誇りに思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境が良い</li> <li>・自然が豊か、美しい（3件）</li> <li>・四季がはっきりしている（2件）</li> <li>・海と山が近い、囲まれている（2件）</li> <li>・八甲田山がある</li> <li>・台風が少ない</li> <li>・疫病や害虫が少ない</li> <li>・温泉が多い、豊かである、直ぐいける（3件）</li> </ul> </li> <li>●食 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物がおいしい（4件）</li> <li>・水がおいしい</li> <li>・リンゴがおいしい</li> <li>・海の幸山の幸が豊富</li> <li>・食が豊か</li> </ul> </li> <li>●文化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書が多くありがたい</li> <li>・ねぶた祭り(2件)</li> <li>・郷土芸能がある</li> <li>・子ども会活動が盛ん</li> </ul> </li> <li>●施策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹が整備されている（2件）</li> <li>・子どもの医療費が無料</li> <li>・議員と語る会がある</li> </ul> </li> <li>●その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人が優しい</li> <li>・人が良い</li> <li>・頑張る学生が多い</li> </ul> </li> </ul>

・血縁が濃い

・静かで平和だ

(2) 残念だと思うこと

●自然

・豪雪・雪が多いため生活しにくい (2件)

・海が汚れている (工事のためか)

●施策

・雪片付けが大変

・仕事が無い、少ない、働く場が無い、企業が少ない (4件)

・新卒者の働く場が無い

・基幹産業が無い

・低所得

・下水道整備が遅い (完備されていない)

・大学が少ない

・短命

・医師が不足している

・医療が遅れている

・子どもの遊ぶ場所が少ない (2件)

・娯楽が少ない (2件)

・教育水準が低い

・人が集まる場が少ない

・公衆トイレが汚い

・貧乏、時給が低い

・投票率が低い

・人口が減っている、特に若者が

・子どもの数が減っている

・新幹線駅と現駅が離れている

・休耕田が多い

・八戸市や弘前市に比べて元気が無い

・八戸市に押されている

・新幹線の恩恵を受けていない

・鉄道網が乏しい

・思い切った重要施策が少ない

・青森なのにリンゴの値段が高い

●気質

・経済団体等の新町地域の保身にこだわる姿勢

・近隣とのお付き合いが希薄だ

・新しい人を受け入れにくい

・宝の山を活かしきれていない (知恵が無い)

・向上心が欠けている

・排他的な感情論が多い

- ・のんびり過ぎる
- ・子育てが下手
- ・お店で「いらっしゃいませ」が無い、嫌な顔される

●その他

- ・鹿内市長が辞職したこと
- ・議会の説明不足
- ・戸山団地にコンビニエンスストアが無い
- ・パチンコ店にいつも人がたくさんいる
- ・議会報告会でのテーマ「まちづくり」は古い

2. 青森市をどんなまちにしたいですか？

・重要課題を2～3に絞り思い切った施策に予算組みする（重点配分）方向性を打ち出せるまち

- ・市役所、青森駅、失敗の検証をする
- ・議員を通してボトムアップできる仕組みづくり
- ・リーダーシップと責任の明確化
- ・情報公開を、本当のことが分からない
- ・市役所を分散せず一カ所にまとめる
- ・議員との話し合いの回数を多くしてほしい
- ・スポーツイベントの誘致
- ・冬期間の安定した公共交通の整備されたまち
- ・道路整備・建設の際は街路樹を何にするかしっかり検討する
- ・雪に強いまち
- ・大型コンベンションを誘致できるハードの整備をする
- ・市役所庁舎を作らずサテライト機能を整備して支所を増やす
- ・見知らぬ人とあった時でも自然と挨拶ができるようになったら、犯罪も少なくなると思う
- ・保健所の活動を家庭訪問にも広げてほしい
- ・無職者がなくなるまち
- ・高齢者ももっと勉強して若者に頼らない生活ができるまち
- ・自分の健康をもっと意識して検診を受ける努力をする
- ・本当のコンパクトなまちづくり
- ・みんなが生き生き輝いて暮らせるまち
- ・老後の心配をしなくてもいいような施策の充実
- ・安心して子どもを産み育てられるまち
- ・まち中に人があふれるまち
- ・ウインドウショッピングが楽しめるまち
- ・雪のせいで転居を考えなくても良いまち
- ・雪があっても困らないまち
- ・おしゃれなカフェやレストランの在るまち
- ・一人になっても安心して生きていけるまち

- ・やりたい仕事ができるまち
  - ・大変な病気になっても地元で治療できるまち
  - ・大人も子どももいじめの無いまち
  - ・Uターンしたくなるまち（2件）
  - ・世界中の人が旅行に来るまち
  - ・健康寿命の延びるまち
  - ・まちの中に子どもたちの元気な声が聞こえるまち
  - ・他県からも「住みたい」と言ってもらえるまち
  - ・近所の人たちと仲良くおつきあいができるまち
  - ・孤立する人がいないまち
  - ・出生率の高いまち
  - ・地域力をアップする
  - ・障がい者もみんな一緒に暮らせるまち
  - ・安心して老いることができるまち
  - ・治安の良い災害に強いまち
  - ・物価が安いまち
  - ・公共交通の完備した学園都市
  - ・チャンス・夢を実現できるまち
  - ・各々の施設の風通しの良いまち
  - ・冬場でも働けるまち
  - ・県外からの移入者の待遇改善
  - ・除雪の行き届いたまち
  - ・成人の勉強意欲の向上
  - ・温泉廃湯を利用した融雪のまち
  - ・議員がレベルアップしたまち
  - ・県外からの来訪客に対するおもてなしの心の醸成
  - ・地域の方々との連帯感と共助・協働
  - ・利雪・活雪のまち
  - ・若者が働ける場所のあるまち
  - ・老若男女を問わずみんなで話し合うきっかけが作れるまち
  - ・明るいまち、挨拶のあるまち
  - ・きっかけづくり
3. それ（ありたいまち）を実現するためにあなたがすべきことは何だと思えますか？
- ・大きい声ばかりでなく、小さい声にも耳を傾ける
  - ・みんなで話し合える場をもっと作る、そして前進！行動！
  - ・地場産品を活かした食品の開発
  - ・ゴミを減じて省エネに取り組みの輪を広げていく
  - ・これはおかしい？と思うことは声を上げていく
  - ・町会の活動に参加して近所の人たちに声をかける
  - ・町会が一つの単位として、まず自分の町会から始める。年一つの計画を立てて実行する

- ・個人では限界（鉄道、駅、バス）
- ・戦略を明確にする
- ・考えをより簡単によりわかりやすく強みを伸ばす
- ・このような会合を増やし、よく私意見で話し合い、議員が本気で意見を取り上げる
- ・死ぬまで勉強
- ・市民と対話し学び行政に働きかける、自ら動く
- ・市政に参加する
- ・健康で長生き
- ・議員を減ずる
- ・町会の人々との付き合い方に問題
- ・職員の対応が悪い
- ・市議の方々が今日の考えを持ち続けるように
- ・一人一人がこれまで以上にボランティア精神を持つこと
- ・自分自身の猛勉強
- ・子どもから大人までの大勢方々をごちゃ混ぜにして、このような会議会合を開いて意見を聞く
- ・「まちづくり」のテーマが古い考え直すべき
- ・市と議会と市民が仲良くしもっと議論を！
- ・自ら提案する人が少ない
- ・市議会議員がもっと意見を言うべきだ
- ・背伸びしないことも必要
- ・だめなものはダメと受け入れる
- ・寿命が短いことは悪いことなのか
- ・他都市と比べるのでは無く、身の丈を考えれば良い

#### 4. 自由意見をどうぞ

##### (1) このような議会報告会について

- ・テーマを絞る
- ・議員の紹介でもう一言欲しい。または、予め配布資料に名前や所属や取り組みを記載しては
- ・ポストイットを使用してほしい
- ・テーマ「誇り、残念」のところは、どうあるべきか→あなたがすべきこと この流れでは無く。だからこうしなければ！の検証が抜けている
- ・この会を継続し回数を増やす
- ・出席者・参加者の自由に発言できる時間が少ない
- ・「カダる会」なのでもっとカダるべき
- ・中高校生を対象にカダる会をやることも。子どもたちの発想や本音を聞くことも大切だ～ゆくゆくは政治に関心をもってもらいたい
- ・一つのワークごとに書くことは良いが、テーブルごとに発表する時間が必要～同じテーブルの人の意見が共有できなかった。それを代表が全体発表することにより全体で意見を共有できる

##### (2) その他

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街活性化の話し合いの時間が無さすぎる</li> <li>・まちづくりの礎のためにPTA（30代 40代 50代）と町会（60代 70代 80代）と交流することが必要。これらをコーディネートする職員が必要</li> <li>・行政のリーダーシップ、責任の明確化</li> <li>・ボトムアップ（下から上へ）が必要</li> <li>・町内会に市民一人一人が参加してまちづくりに対する意識を高める</li> <li>・議員の活動は市民第一に！政党ごとの行動はおかしい！議員の正義は？</li> <li>・民生委員の活動を切望する</li> <li>・冬の交通確保は必要</li> <li>・自ら意見を積極的に発言すること</li> <li>・市役所はどの課に行っても机の上に書類が山積みされている</li> </ul>
<p>記録者所見</p>	<p>戸山市民センター会場では、議会報告（アウガについて）後にワールドカフェ形式で実施した。参加者にとまどいもあったが、議員がリードしながらなんとか実施できた。参加者が自ら書くということには抵抗がある方もいらっしまった。また、どうしても参加者は「意見を言いたい、意見を聞いてほしい」傾向が強い。これはこれとして必要なことであるので、何らかの方法（取組）が必要と考える。市民には「自分がどうするのか」という設問は難しいかもしれない。どうしても行政や議会に意見を言いたい方々が多いのでは無いか。また、個人的に議員の方に質問や聞きたいことがあれば聞いても良いのか？と言った質問や、このようなやり方では次は来ないなというようなご意見もいただいた。議会報告会の在り方はまだまだ検討の余地があると感じた。今後さらに検討が必要である。</p>

※写真添付必須のこと

青森市議会議長 様

平成29年 月 日

上記のとおり報告いたします。

会場責任者 中田 靖人

藤原 浩平

出席議員 奈良岡 隆

里村 誠悦

赤木 長義

奈良 祥孝

橋本 尚美

小豆畑 緑

村川みどり

藤田 誠









